

第2次邑南町行財政改善計画（案）に対する 意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

1. 募集期間

令和6年3月13日(水) から4月9日(火) まで

2. 意見提出者数

1名

3. 提出されたご意見と町の考え方

（※原文のまま掲載しています。）

No.	ページ	項目	ご意見等記入欄	町の考え方
1	8	基本方針(3)協働のまちづくり推進 広聴の充実について	○広く門戸を明け、住民から気軽に「アイデアを承るBOX」を各所に設置する。子供も含めて分けへだてなく何でも聞く「土壌、風土を創造」していくことが、極めて重要と考えています。住民総がかりで町づくりを考えていく。このシステムがメインスローガンである「心かよわせ ともに創る邑南の郷」となると確信しています。是非、実現しようではありませんか。	現在、町民からのご意見を伺う仕組みとして、本庁・瑞穂支所に「ご提案箱」を設置していることや、自治会長等会議や町政座談会などで幅広くご意見を伺っております。また、日ごろからいつでもご意見をうかがえるような体制を心掛けています。 ご意見を参考にさせていただき、羽須美支所にも「ご提案箱」を設置いたします。また、よりご意見を伺うことができるよう、広聴の充実に努めてまいります。

No.	ページ	項目	ご意見等記入欄	町の考え方
2	9	基本方針(4)挑戦し続ける町役場の構築 重点項目① 自ら考え行動する職員の育成 重点項目② 人を育てる職場環境の構築	○職員の資質向上に向け、民間企業も含め、派遣研修、人事交流を促進するとある。併行して、職員の意識改革を一層、推進する手法として次の活動を提言します。 ①自己活動の展開(クオリティコントロール。品質管理と訳されている)―先進的民間企業では常識といっていいほど活発に実践されている。 ②OJT活動(職場内教育・トレーニングなど) ③業務改善運動(点検する。見方を変える。考え方を変えてみるなど) ④接客の向上へ向けて「ロールプレイの展開」あるいは、先進的企業へ交代制で出向し、ノウハウを吸収してもどる方法もある。 ⑤経費節減運動などなど これらの運動活動を展開することによって役場総体としてグレードアップすることにつながります。 ステップバイステップで取り組むことで、職員ひとりひとりの資質の向上へ向かうと考えております。 「一人が百歩進めことと共に、百人が一歩進む」ことで、町役場の水準が向上すると考えています。 更には、役場が「役にたつ所」へ、そして「役にたつ人」へとつながると考えています。 自己研鑽、相互研鑽されることを強く期待致します。	職員の人材育成については「邑南町職員育成基本計画」を基本に実施しております。 いただいたご意見を参考に、研修計画に組み込んで行きたいと思います。

No.	ページ	項目	ご意見等記入欄	町の考え方
3	10	4 行財政改善の進め方 (2) 推進の方法の欄 改善の進捗を毎年見直しを行い、必要に応じ、第3者委員会を設置し意見を伺うとあるが	○第3者委員会は、常時設置し、毎年度毎に「成果と課題」を精査し、向上させていくことが大切と考えています。提言致します。	推進にあたっては、庁内組織（副町長を本部長とした行財政改革推進本部）で進捗確認等を行っています。 年度ごとの進捗状況等について、邑南町議会に報告し、ご意見等を伺ってまいります。
4	11	《別表》取組事項一覧 基本方針(1) 公共施設の整理合理化と有効活用について	○各々の施設において使用率の低いものは統廃合を進め、又は解体することに基本をおいて対処していくことが必要と考えています。税金のムダづかいを少なくするため。	各施設の整理合理化については、令和6年3月改訂版「邑南町公共施設等総合管理計画」に基づき実施してまいります。 総合管理計画において、利用頻度や老朽化の状況から経費ばかりかかる非効率的な施設などは積極的に施設の集約を行い、処分（解体・譲渡等）や用途廃止することとしております。
5	12	基本方針(2) 重点項目② 歳入の確保と歳出の抑制	広報の広告料収入の強化とケーブルTV、CM料収入の強化（No.1 とNo.2）について ○単なる目標としてではなく、必達するように積極的に働きかけることを強く望みます。	目標が達成できるよう取り組んでまいります。
6	12		(No.4)の歳出の削減の欄について ○歳入額、歳出額の均衡確保とありますが、併行して経費節減運動を展開することを強く要請致します。	地方公共団体は地方自治法にもあるとおり、最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければなりません。 よって経費節減について、常に検討しておりますが、今後も様々な視点から取り組んでいくよう努めてまいります。

No.	ページ	項目	ご意見等記入欄	町の考え方
7	13	重点項目③ 事務処理の効率化と 次世代型行政サービス の実現について	○どの課とも共通して考えて頂きたいことは「ワンストップ方式」で事務処理、事務整理ができるように改善していただきたいと考えています。タテ割り方式ではなく、一つの窓口で整理、対応、完済できるシステムを考えて頂きたいと思っています。	窓口での手続きについては「ワンストップ方式」も含め、町民はもちろん、職員も便利さを実感できるものにならないといけません。 デジタル技術の推進やマイナンバーカードの普及など時代の変化も考慮しつつ、多様化する住民のニーズに応えられるものになるよう、検討してまいります。